

■思うと願う■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 455 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

455 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：思うと願う
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

新年明けましておめでとうございます。

今日は、「なぜ、明けることがめでたいか」について一言。

写真は、今年の年賀状に添えたもので、1981年に訪問したローマのパンテオンの天井です。

床からドーム頂部までの高さは直径と同じ 43.2m で、頂上部分にはオクルス (oculus, ラテン語で「目」の意) と呼ばれる採光のための直径 9メートルの開口部があり、そこから差し込む光が地球と連動しています。

この写真で伝えたかったのは、光源の明かりと照らされた明かりの対比で、それは太陽と月の関係と同じです。

暗がりについては「陰と影」という言葉が有るのに、明るさに関する同様の対比語が見当たりません。

でも、この明るさの価値について、素敵な言葉が有るのでご紹介します。

.

「面白い」とは、「自分の面 (する部分) が白く (明るく) なる」ということ。

薄暗く、ぼんやりしていた目の前が、明るくくっきりと見える (分かる) ようになることです。

そこで僕は、これを手掛かりにして写真に次の言葉を添えました。

Enlightenment 目をひらいて、物事を明らかにさせること。

僕がまつむら塾を使ってやりたいことは、「世界の面白さを知り、みんなで面白く生きること」だと思えます。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

.....

2. まつむら塾より

現在開催中の講座は下記の通り（1か月分）。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイドダンス講座	毎週土曜日 10-17時	笑恵館	無料
実現学（夜教室）	01/10（水）22-24時・B22.清書の意味 01/17（水）22-24時・B23.表現の工夫 01/24（水）22-24時・B24.伝達の確認 01/31（水）22-24時・B25.感動の作り方	zoom	3,000円/回
実現学（火朝教室）	01/16（火）10-12時・B11.疑問とは何か 01/30（火）10-12時・B12.理系と文系	笑恵館	3,000円/回

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：思うと願う

先日、ディズニー100周年映画「ウィッシュ（wish）」を観てきた。

王に預けた「願い」を取り戻すために星の力を借りながら、誰もが自らも星になる・・・という物語は、1940年に制作された「ピノキオ」の主題歌である「星に願いを（When You Wish Upon a Star）」の思いを忠実に引き継いでおり、まさに100周年にふさわしい。

ぶれない価値観をきちんと示すことで、その価値観の価値をさらに高め、結果としてディズニー社の自信と誇りを感じた。

ちなみに、この映画を見に行ったらきっかけは、複数のまつむら塾受講者がFBにお勧め投稿していたから。

「願いを叶えること」がまつむら塾の取り組む「実現」と同じなら、僕もこの映画に便乗したかった。

だが、この願いは叶わない上に、僕は重大な気づきを得たので、その話をしたいと思う。

・

この映画は「願い」について次の2つを教えてくれる。

1. 「願い」とは「願うこと」つまり誰かにその実現を頼むこと。
2. 「願い」は漠然としていて、よくわからないこと。

まつむら塾では、自分の「願い」を実現するために、「願い」の内容を自分で探求する術を学ぶので、後者の気づきは歓迎。

だが、たとえ「願い」が具体化しても、他力を当てにするのではまるで意味がないと思う自分に気が付いた。

そこで今日の本題は、「願う」という言葉に「自分が挑むこと」が含まれるのか。

もし含まれないのなら、僕は迂闊に「願う」という言葉は使えない。

・

「願う」を辞書で引くと。

- 1 神仏に、希望の実現することを祈る。祈請する。願をかける。
- 2 望みがかなうように請い求める。望み求める。
- 3 こうしてほしいことを人に頼む。助力や配慮を求める。

等の意味が出てくる。

「希望の実現」そのものでなく、それを祈り、求め、頼むこと。

もしも上記の「願う内容」を指す言葉を「願い」と言うなら、「願いを願う」ことになってしまう。

・

「願い事の内容」は大切だが、「それを願うこと」を論じたいとは思わない。

僕が論じたいのは、願い事を「願う」のでなく、あくまで「自分の力で実現する」ことだ。

そこで僕は気が付いた、「自分がやりたいこと」を「願い」と言ってはいけないと。

「願い」には、自分自身がやることを含まない方が良く僕は思う。

だがもしも、願う相手が自分自身だとしたら、それはどんなことだろう。

例えば、「今決断をする」ならば、「将来心変わりしないこと」を自分に願いたいかも知れないが、これは将来の自分という他人になぞらえた表現であり、今の自分に該当しない。

少なくとも今現在の自分自身以外に願うなら、それは自分自身の行為とは言えない。

・

そこで、「願い」に代わる言葉として、「夢」について検討する。

「夢」を辞書で引くと、次の5項目の2番目に、ズバリ目的の意味がある。

- 1 睡眠中に、あたかも現実の経験であるかのように感じる一連の観念や心像。
- 2 将来実現させたいと思っている事柄。
- 3 現実からはなれた空想や楽しい考え。
- 4 心の迷い。
- 5 はかないこと。たよりにならないこと。

・

ここで大事なことは、「願っている」でなく「思っている」であること。

「思う」とは、「考える」や「判断する」ことを指す、他を当てにしない自分主体の行為だ。

今日は「願う」の意味を深掘りすることで、「思う」の意味をより正確に理解することができた。

実現とは、自分が「感じ」「思ったこと」を「実行する」ことを指す。

まつむら塾は「思ったこと」を実行できるよう「説明する術」を学ぶ。

そこに「願う」や「祈る」は介在しないことを、今日は確認できた。

少なくとも「願い」ではなく、「夢」を描きたい。

<https://nanoni.co.jp/20231231-2/>

.....

4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

(火) 01/02 休業日

(水) 01/03 休業日

(木) 01/04 笑恵館作業日

(金) 01/05 笑恵館作業日

相談×：11-12時 Sさん（笑恵館）

(土) 01/06 笑恵館作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）

(日) 01/07 休業日

(月) 01/08 休業日

交流◎ : 10-17 時 麻雀大会 (笑恵館)

■今後の予定

- 01/09 会議○ : 20-21 時 LR 定例会議_2 火 (zoom)
- 01/11 会議◎ : 17-19 時 笑恵館運営会議_2 木 (笑恵館)
- 01/13 交流◎ : 10-17 時 よろず相談会_土 (笑恵館)
- 01/14 会議× : 10-12 時 100SMILES_2 日 (zoom)
- 01/18 交流◎ : 13-18 時 なるほどデイ_3 木 (笑恵館)
- 01/18 交流◎ : 18-20 時 持ち寄り食事会_3 木 (笑恵館)
- 01/23 会議○ : 20-21 時 LR 定例会議_4 火 (zoom)
- 01/25 交流◎ : 10-12 時 笑恵館 de シネマ_4 木朝 (笑恵館)
- 01/25 会議◎ : 17-19 時 笑恵館運営会議_4 木 (笑恵館)
- 01/25 交流◎ : 19-21 時 笑恵館 de シネマ_4 木夜 (笑恵館)
- 01/27 交流○ : 18-20 時 住人食事会_4 土 (笑恵館)
- 01/28 交流○ : 10-14 時 名栗の森 OSC 例会_4 日 (飯能)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅 :

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体 :

株式会社なのに (取締役・平社員)

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会 (代表理事)

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL (事務局長)

<http://www.home-for-all.org/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>